



ぼらんていあ通信

6月号
通巻 No.439

発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会 2018年6月19日
連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内
TEL/FAX: 042-759-7982 Eメール: sagamiva@feel.ocn.ne.jp HPアドレス: http://sagamiva.info/

今年もボランティア養成講座が始まります!

あなたのやりたいことが、ここから!

受講者募集!

市内在住・在学・在勤の15才以上の方を対象に、ボランティアについて基礎から専門まで学んでいただく講座です。

◆基礎講座 (全3回) 会場はすべて市立あじさい会館6階 第1展示室 受講料: 1,500円

日時	内容
①7月7日(土) 午後1:30~4:30	・対人ボランティア活動で大切な基本姿勢をまなぶ「人と人とのかわり」 講師: 川崎 幸 クリニック 臨床心理士 稲富正治さん ・実技/「車いす体験と介助」
②7月14日(土) 午後1:30~4:30	・講義/「障がいって何?」 講師: 桜美林大学専任講師 谷内孝行さん ・実技/「視覚障がい者との接し方」
③7月21日(土) 午後1:30~4:30	・講義/各コースを知る ・パネルディスカッション「私とボランティア活動」活動経験者のお話 ・今後の進路について個別相談を受けます

◆コース別講座 (各コースは教材費など実費が必要 基礎講座修了者が受講できます)

コース名	概要 () 内は教材費	日程
視覚障がい者の外出援助 (5回)	外出時の介助、誘導、施設見学、障がい者スポーツ体験 (300円)	9月11日~10月9日の火曜日・木曜日 午後1時半~4時 10/9のみ午前10時~正午
音訳ボランティア (9回)	活字情報を読む音訳ボランティアの実際 (500円)	9月11日~11月13日の毎週火曜日 午前10時~正午
拡大写本 (11回)	弱視の児童などのための大きい文字の教科書づくり。 (1,000円)	9月6日~12月20日の木曜日 午前10時~正午
福祉車両の運転・介助 (5回)	車いすのまま乗り降りできる車の運転と介助。32歳から75歳位まで。	8月25日~9月22日の土曜日 午前10時~正午
高齢者支援 (5回)	高齢者との交流、介護の実際が体験について理解と実習。 (500円)	9/3・9/10・10/1・10/22 の月曜日午前10時~正午・10/15(月) 9:00~16:00は実習

*お問い合わせは、相模原ボランティア協会 (月~土 10:00~15:00) 042-759-7982



ボランティア協会に、
新年度から新しいお仲間が8名増えました。
NEWフェイスの皆様にご紹介をさせていただきます。

尾崎春枝

今、老人ホームで週三日、介護の仕事をしてしています。全部で五十名位の人達と接していますが、日々の業務におわれなかなか個々とお話をする時間があまりないのが現実です。絵が好きなので季節を感じてもらいたくて庭の花を描いてみんなに見てもらっています。

傾聴を通して皆様と接して、いろいろな方達との出会いを楽しんでいます。



越智妙子



はじめましてー越智妙子と申します。

年齢はと云うとあと数年で古希を迎えます。相模大野(若松六丁目)に住み三十数年近くになります。我が家は子供が三人居りましたが、皆独立し、今は主人と義父、伯父と私の四人の老人ばかりになってしまいました。百才を迎えた義父も元氣なので助かりますが、話を聞いて欲しい感じです。傾聴の経験が生かされるように勉強していきたいと思っています。

*次頁に続きます



後藤眞理子

傾聴講座を受講しましたが、傾聴ボランティアとほらんていあを一緒に行うのか、今は漠然としています。患者団体の活動に係わって二十数年経ちますが、その中で仲間同士の交流や目的を持った相談とは違っているのを感じています。しかも、諸先輩方にはいろいろな教えていただけるながら、傾聴ボランティアを経験していただこうと思っています。ぜひぜひご一緒をお願いします。



田中恵子

昨年の夏、母が1ヶ月余の闘病でハンディキャップのお世話になりました。母が介護五になってもどんな状態の時も、色々な人に助けていただきました。ボランティアの方にも本当に助けていただいたり有難いことばかりでした。今度は、私が何かできる事をしたいと思っています。



海一美

私がこの講座を受けたいと頂いたので、自分も後期高齢者の仲間入りをして、同じ皆様方のお世話になるのもいいかもしれません。それまでは少しでも何かできる事があればいい、行へ場所がある事がある自分も頑張りたいと思っています。チャンネルを自分で見たいと思いましたが、先輩の皆様への御指導を頂戴しながら、私も頑張りたいと思っています。



堀田千恵子

長年母の介護に始まり、周りの方々に助けられながら一昨年暮れに主人を看取りました。今一人となって、これから与えられた余生を大切に過ごしたいと思いついてきたのが高齢者、その家族のお手伝いをする事でした。その様に考えている時、傾聴の場に出会うまで、この会に入っていたかったです。これから自分自身の生きがいの一つとして努力していきたいと思えます。



山本英子

今はまだ1ヶ月余りましたが、私の両親は二人で埼玉で暮らしてました。八十歳を過ぎてからは近所の方、ボランティアの方、介護の方の助けで生活してました。

私もボランティアができる状態となり、両親が受けた思いを少しずつお返ししていきたいと思っています。



中田由子

私には旦那さんがいるが、お役に立てないのでかわかりませんが、一生懸命頑張っています。つい先月、腰痛を迎えたばかりの若妻(20)です。先輩の皆様への指導にたいして頑張りたいと思っています。

私の好きなJAZZの和音一時は難関な曲も時間です。聴いて藤田十年の会です。現在中野区立三羽十姉妹一羽の会のメンバーです。聴いてのんびり猫りやとどきやの会にも参加しています。

*お名前や住所はご隠しさせていただきます。



Twitter

ほらんていあ通信版

ツイッターコーナー

鈴木春穂里

六月五日の火曜日、予てからの計画通り、高校時代の歴史の先生と高校同期の友三人で三鷹界隈の散歩に出かけた。願ってもない天候。国際キリスト教大学の緑豊かな境内にある湯浅記念館で「闘弁当箱」と題する展示を拝見。見事な塗の黒箱やお燗の道具などに昔のお供は大変だったと同情。

メインは「中近東文化センター」。先生が見せたかった複製「ハンムラビ法典」。「田中恵子」の言葉は復讐の意味ではなく、程度を超えてはならないという意味だと高校時代に戻って先生の解説。楔形文字を読み解くとした人の素晴らしい解説「テオもゆつくり視聴」。最後は玉川上水に添った「風の散歩道」。太宰が入水中心とした箇所のに置かれた「玉鹿石」も。図らずも六月は桜満開。

高校時代憧れた恩師米寿。私達生徒米寿。珈琲店の会話も弾んで何とも良い一日でした。

お知らせ

今年の「ほらんていあ」は「健康フェスタ2018」は十月二十日(土)に開催されます。

健康フェスタ2018(フェリス学院がメイン会場)は、市体育館(体育館)と、おみやげ健康スポーツイベント(市体育館)も、同日開催です。

来日料金は無料です。準備に関わり活動して頂きます。皆様への御努力をお願いいたします。



ボランティア活動グループ訪問記



「ほっとほっとカフェ」小山地区社協

小山地区社会福祉協議会の小山「ミニコミュニティ事業委員会」が運営する「ほっとほっとカフェ」はJR相模原駅を下車、



カフェの案内板



コースター作りは楽しいです！

を見学する人がまわりを囲む。今日のクラフトはカラフルな梱包用紐で作るコースターです。不器用な私は出来上がってくる素敵な作品を見ていると世の中には素晴らしい器用な人が大勢いるものと感心するばかり。このテーブルは女性陣であふれている。他のグループは男性、女性入り混じり

相模総合補給廠沿いに歩くこと十分ほどの所にある小山公民館で開催されている。公民館目指して、爽やかな初夏の日差しの中を歩いていると汗ばむほど、吹く風が涼しい。そんな心地よい日曜のせいか公民館の周りには人波が多く驚いた。あとで分かったことだけど、今日は民生委員さんの会合が行われていたのだそう。待ち合わせしていた三十尾さんと「ほっとほっとカフェ」と書かれた看板を探している時事務局の方にお会いした。「いつもの会場が使えなくて、今日はこちらが会場なんです」と案内されたカフェにはすでに何人かの方が集まっていた。テーブルの好きな所に座り、コーヒーを飲み、お皿のお菓子などをつまみながらグループで話に興じる人があちこちから。クラフト作りのテーブルには五、六人の方が、それ

勢いるものだと感心するばかり。このテーブルは女性陣であふれている。他のグループは男性、女性入り混じり和気あいあい話に花が咲いているのが見て取れる。全体で二十名ほどの方たちがいる。参加費用の百円を受付で払って中に入ると、受付の男性と同じ緑のエプロンをかけた今日のカフェ担当のボランティアさんが五人ほどいた。「このカフェの活動は五年目を迎えました」と話してくれたのはカフェ立上げ当初から携わっておられるというボランティアさん。カーティガンのきれいなレモン色が目に映り、テーブルの間を縫うようにして歩きながら皆に声をかけておられました。「ミニコミュニティ形成事業として三年間の準備期間を経て、その後の二年は集まってきたボランティアさんたちをA班とB班の二グループに分けて毎月一回、第三水曜日に交互にカフェを開いていると話してくださいました。小山高齢者支援センターの白井さんにもお会いし、「娘が撮った母の認知症百八十日」というドキュメンタリーの上演会をして認知症のことをもっと良く知ってもらおう活動の話をしてくださいました。B班のリーダーの朝比奈さんは「楽しい人と人との出会いができますように。初めて来ても、すぐにほっと入って来られるようなカフェであらいたい。小山健康ボランティアグループ「クローバー」の方もいつも活動してくれ」と話した。急に人が増えてきました。民生委員さんたちの会合が終わり、人波がこちらのカフェに押し寄せてきたようです。満員の太盛況です。前出のボランティアさん



話に花が咲いて～

んが「ぼらんの漢字のクイズが面白いです。皆と楽しんでやっていますよ」と話してくださいましたので嬉しい取材となりました。(三十尾・小林)



*連絡先
〒251-0114
相模原市中央区回陽町8-1
小山公民館内
小山地区社会福祉協議会 事務局
☎ 0421-755-0350

クイズに挑戦

読めそうで読めない漢字クイズです。みなさんはいくつ読めるかな？
まずは初級編。

- ①海星 ②心太 ③賽子 ④蝸牛 ⑤所謂
- ⑥鱧魚 ⑦熊猫 ⑧子守熊 ⑨案山子 ⑩百舌鳥
- ⑪胡桃 ⑫扁桃 ⑬達磨 ⑭甲板 ⑮墨子
- ⑯土竜 ⑰軍鶏 ⑱無花果 ⑲合歡木

は隣
えく
答す

クイズの答え

- ①ひよこ ②うなぎ ③かき ④かたむち
 - ⑤いわね ⑥ひよこ ⑦パンダ ⑧コアラ
 - ⑨かかし ⑩もず ⑪へび ⑫アーモンド
 - ⑬だま ⑭じはん (かんばん) ⑮あひ
 - ⑯もへび ⑰じゃま ⑱なまこ
- *⑭甲板は、世間一般では「かんばん」と読んでいますが、船舶関係が専門の人たちは「甲板」と読んでいます。

SWE

相模原ウインド・アンサンブル

ぼらんていあ♡ぼらんていあ(11)

私たちは、クラリネット奏者である福島正和氏を常任指揮者とし、相模原市で活動する一般吹奏楽団「相模原ウインド・アンサンブル」です。県立相模原青少年会館(現相模原市立青少年学習センター)で開講された「吹奏楽教室」から数える約四十年に渡って活動をしています。現在、十代から六十代まで、団員数約四十名で活動しています。

現在は、年一回の定期演奏会とクリスマスコンサートを中心とした演奏を行っております。また、昨年以来、地域の保育園や自立支援施設、市民団体等から数々の演奏の依頼を頂いており、このような依頼演奏を通じて地域の方々への演奏での貢献もさることながら、団員自身の演奏技術の向上にもつながっていると感じています。

本年六月二十四日(日)に第二十九回定期演奏会を橋本駅近くの「杜のホール」にて開催します。また、本年十二月九日(日)には相模原市立青少年学習センターのホールでクリスマスコンサートを開催します。いずれも入場料は無料、幅広い年代のお客様に楽しんでいただける内容となっております。

最近の演奏活動実績および今後の活動予定(相模原市内)

- H29年 5月: ふちのべ美邦保育園 サックスアンサンブル
- H29年 6月: すこやか保育園 クラリネットアンサンブル
- H29年 7月: 第28回定期演奏会
- H29年 8月: 相模原シティオペラ公演「椿姫」演奏参加
- H29年 10月: 松が丘園「銀河の森フェスタ」演奏参加
- H29年 12月: クリスマスコンサート
- H30年 6月: 第29回定期演奏会(24日15時、杜のホール)
- H30年 8月: 相模原シティオペラ公演「仮面舞踏会」演奏参加
- H30年 12月: クリスマスコンサート



青少年学習センターでの練習



平成29年10月松が丘園祭「銀河の森フェスタ」



定期演奏会

相模原ウインド・アンサンブル

ホームページ: <http://sweswe.sakura.ne.jp/hp/> (相模原ウインド・アンサンブル; 検索)

問い合わせ: 中央ボランティアセンター (いるかバンク) 042-786-6181

理事会報告

六月六日(水) 十三時半より(理事八名出席)

- 一. 報告事項
- ◆ 広報委員会
 - ・ 情報部会、(株)イノウエ様に桜まつりの協力への、お礼と報告に伺う。
 - ・ わくわく部会、わくわく夏号の印刷、発行を七月二十八日に行い、公民館等にも置く。
 - ◆ ハンディキャブ委員会
 - ・ 新車購入は今年も日本財団へ助成申請する。
 - ◆ 総合企画委員会
 - ・ 若手会員(六十歳以下)を対象に懇談会開催の手紙を出した。八月四日(土)開催。
 - ◆ 事務局委員会
 - ・ フレッツ光の電話回線工事を五月二十九日実施した。
 - ◆ 講座検討委員会
 - ・ 養成講座七月七日、十四日、二十一日開催。
 - ◆ 傾聴委員会
 - ・ 新規利用者の増員を図るため働きかける。
 - ◆ その他
 - ・ ほかふれフェスタ十月二十日、十二月八日
- 二. 審議事項
 - ・ 運転ボランティアの定年、増員対策、利用者新規採用停止について検討した。
 - ・ 定款変更について次回検討する。
 - ・ ホームページの「公告」掲載内容について確認した。

次回理事会 七月四日(水)

イベント情報

ヒューマンドキュメンタリー映画

上映会『やさしくなあと』

～奈緒ちゃんと家族の三十五年～

日時：七月二十九日(日)

①午前十時～午前十一時五十分

②午後一時～午後二時五十分

場所：相模女子大学マーガレットホール
(4階カーテンホール)

内容

①十時～十二時五十分(開場九時四十五分)

上映終了後 伊勢真一監督トーク

②十三時～十四時五十分(開場十二時四十五分)

上映終了後十六時二十分までトーク

伊勢真一・狩野晴子(相模女子大准教授)

費用：当日券千五百円、前売り券千二百円

障がい者シニア学生(高校生以上) 千円

中学生以下 無料

チケット申込・問合せ

電話090・1557・3838(「タマ」)

電話090・7812・5257

ボランティア協会 7月のよてい

日	時間	内容
4(水)	13時半	定例理事会
7(土)		ボランティア養成講座
14(土)		
21(土)		
10(火)	19時	ほかふれ幹事会
11(水)		黄色いレシートキャンペーン
14(土)	13時	事務局委員会
21(土)	10時	ハンディキャップ委員会
23(月)	13時	ぼら通印刷
24(火)	13時	ぼら通発送
28(土)	13時半	わくわく印刷、発行
30(月)	14時	総合企画委員会

ほっとたいむ

日時・場所

①緑区 合同庁舎2階
高齢者交流室

八月八日(水)、九月二日(日)、
十月一日(月)

②中央区 市民会館4階
第5小会議室

八月六日(月)、九月四日(火)、
十月十日(水)

③南区 南保健福祉センター
2階情報交換ルーム

八月六日(月)、九月七日(金)、
十月二日(火)

時間は各区共十時半から十二時

問合せ先

認知症家族会 友知草の会
富樫

「人」を大切に、「満足」を共有する

現代は、技術革新により情報伝達速度はあっという間に、手段は加速度をつけて拡がっております。印刷業界においても多様性が求められ、従来の「印刷する」という概念を超えたサービスが求められるようになって参りました。しかしながら、その根幹は過去も未来も「お客様の気持ちを伝える」という事に変わりはないと考えております。



平井一真さん

私共は、おかげ様を持ちまして相模原市で創業し、今年で43年を迎えます。創業当時より、「人は宝なり」の理念のもと会社を支えている社員やその家族はもちろんのこと、何よりお客さまを大切に精励して参りました。

私共は、まず、お話をじっくり伺い、理解を深め、良きアドバイザーとなり、情報やアイデアをご提案させていただき、お客さまにジャストフィットした製品をご提供致します。

また、ご依頼には迅速かつ的確に対応し、予算内で最高の品質を、期日通りにお届けすることを基本としております。

そして、3R (reduce リデュース・reuse リユース・recycle リサイクル) を推進し、「持続可能な社会」「環境と経済の両立」を目指し微力ながら社会の一助となるべく日々努力しております。

心の通う時間と充実した作品で「満足」をお客さまと共有することが私共の最大の喜びです！

相模原市で活躍する会社紹介

デザイン・企画・印刷



会社名 タイヨー印刷株式会社

代表者 長田 功 さん

取締役営業部長 平井 一真 さん(38歳)

(公社)相模原青年会議所、財務担当理事

所在地 〒252-0243

中央区上溝4-9-10

電話 042-762-2157

E-mail allstaff@taiyo-print.com

業務内容

☆企画デザイン

☆オフセット印刷、オンデマンド印刷

特殊印刷、製本、広告看板、カレンダー

市社協事業紹介 (その3)

ボランティア協会員の皆さま、こんにちは！
相模原市では多くのボランティアの方々、自治会、地区社協、民生委員・児童委員の皆さまがそれぞれの地区で福祉活動に取り組んでいます。市と市社協も、多くの方々のご協力を得て様々な福祉事業を展開し「みんなで支え合い地域の力が育む 人にやさしいまち さがみはら」を共通のスローガンとして、地域福祉の推進に取り組んでいます。

今号は七月十六日(月・祝)にあじさい会館ホールで開催される「子どもの居場所づくりセミナー」を紹介します。

◎「いま、なぜ子育て支援か」

少子高齢化の現代では、高齢者支援の課題だけでなく、養育者を含めた子どもたちに向けた支援も大きな課題となっています。高度経済成長期以降の急激な核家族化の進行は、一つの家庭の構成人員を著しく減らし、家庭内で生活課題を解決する力を低下させてしまいました。また、依然長引いている経済の低迷などに起因する世帯収入の伸び悩み(場合によっては減少傾向)は、逆に急上昇している学費や塾の費用を含む子どもへの養育費とバランスを取りにくい状況を起こしています。

こうした状況の中で、高齢者に対する福祉制度はある程度成熟期を迎えています。現在の社会状況に対応する子どもへの支援策は、ようやくスタートラインに立つことができたとはいえます。

◎「学校の塾・勉強はどこの？」

私(昭和三十六年生まれ 相模原育ち)が中学生のころ、クラス内で学習塾を利用する人はひと握りでした。もちろん地方、地域の状況により違いがあると思います。現在の様子はいかがでしょうか?一般的には中学生でクラスの六〜七割(学校によっては八割のところも)の生徒が通塾していると言われていました。学習の場の本来論を論じることが必要ですが、もはや塾に通うこと自体がスタンダード化していると言えます。

次に通塾の費用はどれくらいでしょうか?大雑把な計算上では、中学生一人当たり月謝二〜三万円と言われています。この金額に世帯内の子ども二人の家庭では年間四十八万円〜七十二万円が必要となります。普段の養育費(学校の費用を含む)の他に、これだけの費用が現代の子育てには必要ということなのです。

◎地域で実践されている支援活動とは?

さまざまな家庭の事情で通塾が難しい場合、学力の格差が生じやすくなることは否めません。また放課後の過ごし方にも孤立傾向が見られ、同年代の仲間づくりにも支障が起きてきます。子どもたち本人の頑張りだけでは解決の糸口はなかなか見つからず、将来への希望を見出せなかったり、社会からの孤立感を日々感じるようになりやすいのです。

このような中、地域で取り組みが始まっているのが子ども食堂や無料学習支援等の「子どもの居場所づくり」活動です。この活動には地域住民やボランティア、NPO団体、地区社協など多くの

団体が取り組みを始めており、行政も積極的な支援を始めました。

市社協ではこうした活動を進めるボランティア等の団体に対し、助成事業による支援を実施しています。平成二十九年度は十七団体が、子ども食堂、無料学習支援の他、夏休み等の長期休暇中の居場所づくり活動などを行いました。財源は市民からの寄付金による「子ども健やか育成基金」と共同募金の一部を充てています。多くの市民の善意が子育て支援、地域の子どもたちの育成を支えています。

◎今後に向けて

市社協では子ども居場所づくり活動を広げていくためセミナーを実施します。

日時 平成三十年七月十六日(月・祝)
午前九時四十五分から

場所 あじさい会館ホール

内容 室田信一氏(首都大学東京准教授)による講演と活動団体(三団体)による事例報告

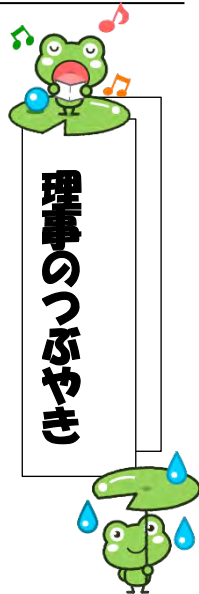
定員 百名 *参加費は無料
申込 六月十五日(金)より受付開始

中央ボランティアセンター
電話 042・7866・6181
FAX 042・7866・6182

先着順の受付になります。

ボランティア協会の皆さまに子どもたちを取り巻く環境や生活課題を理解し、支援の在り方と今後の希望について御一考いただくと幸いです。

市社協 田所



理事のついでに

雪まつりについて

杉本 栄治

「国境の長いトンネルを抜けた」といって『雪国』の舞臺になった町（越後湯沢）の隣町が私の故郷 塩沢町（現在は南魚沼市塩沢）です。この歌でも今回は雪まつりについて話してみます。

江戸時代後期に越後魚沼の雪国の生活を書いた本「北越雪譜：鈴木牧之（塩沢）」が江戸で随分評判になったこの事です。私の子供時代の冬の生活は殆どこの世界でした。

子供たちにとっては、雪は決して嫌な存在ばかりでは無かったように思います。十一月末から十二月に初雪が降りますが、何かわくわくした気分になったことを思い出します。雪には神秘的な雰囲気があり、雪の降る夜は耳鳴りがするほど静かで、深々と夜が更けてゆくと表現が実感できるのです。また雪を使っている遊びが数多くあり、楽しんで遊ぶことができました。

しかし大人たちにとっては雪は極めて厄介な代物で、降る積もる雪をそのままにしておけば家は潰れ、道は道でなくなるのです。特に大変なのが「雪降るころ」尚私のお母さんは「雪降るころ」と呼んでいました。雪降るころが続くと家の周りが段々高くなる、このころは屋根が崩れるのを防ぐために家を揺らすのです。

この表現がまだなためにはなにかと思っています。道は両側の家からの雪降るころは高くなる、私の記憶している中で最も高くなったときは電線が足元にあつたほどです。そんな思い出ですから、家から雪の階段を作り出入りしてました。家の中は風間でも薄暗く、この春を待つのです。その分、春になつて地面を踏んだ時の喜びは雪国の者にしか分からないでしょう。現在は地下水をくみ上げ、道路や屋根に流れておく海苔パイプのため街中の道路や屋根にはあまり雪は積もらず、雪は随分と楽になったのでしたが、たまたま帰った私には少し寂しい感じがします。

雪まつりのお話をもう一つ、転勤で山形県の鶴岡市で一年間過ごしたことがあります。車は四輪駆動が必須、シャベル、飲料水、チヨリシート、毛布を常時積んでおくと、雪まつりの転勤だった訳ですが、新潟の雪は全く異なる、雪は下から舞い上がり、の歌にあるように積もった雪が強風に煽られ舞い上がる、いわゆる地吹雪です。雪には慣れているはずの私ですが前が全く見えない為随分と怖い思いをしました。

最後に、ごあわせの黄色いシートキャンペーンへの協力のお願です。イオングループが社会貢献の一環として行うこのキャンペーンは、毎月十一日のシートは黄色い色になっています。そのシートを提供して頂く売上額の1パーセントを登録して頂く福祉関係の団体に寄付をして頂くというものです。

此協会も系列の異なる店舗で登録をさせて頂いています。



イオン橋本店、ダイエー上溝店、グルメシティ淵野辺本町店、ザ・ビッグ相模原西橋本店です。十一日にこれ等の店にお出かけの際は是非黄色いシートをボランティア協会のBOXに入れて下さい。尚、イオン橋本店では十一日の十六時から十七時にボラ協のメンバーが食料品売り場に立って「おねがいします」と声を張り上げています。声をかけて頂けたら嬉しいです。



7月の記念日は？

小倉 義男

7月20日、月面着陸の日です。

1969年のこの日、アポロ11号が月面に着陸し、人類が初めて月面に降り立った。日本時間では7月21日早朝であるため、7月21日を月面着陸の日としている書籍—日本記念日協会の本など—もあるそうです。今から49年前のことになるんですね。

朝早起きしてテレビにかじりついて見ていた記憶があります。それだけワクワクしていたんですね。(*~*)



小倉画



ボランティアさん募集！

あじさいの会（難病の方のグループ） 戸外活動の付き添い

内 容 相模川ふれあい科学館への外出付き添い（車いすの介助）
 日 時 平成30年10月18日（木）午前9時30分～午後2時
 集合時間・場所 午前9時 ウエルネスさがみはら1階ロビー

※男性の方1名の募集です。動きやすい服装、昼食持参でお越しください。
 雨天決行です。

連絡・問い合わせ先

相模原ボランティア協会あじさい連絡所 : 電話 042 (759) 7982
 相模原市社協 中央ボランティアセンター : 電話 042 (786) 6181



障がい者の詩

魂の詩を贈る

ますだとしあき
 増田寿昭

「がんばりますか?」と聞かれたら
 「がんばりますよ!」と答えたい。
 「苦しむなにか?」と聞かれたら
 「苦しむないますよ!」と答えたい。
 「しあわせですか?」と聞かれたら
 「しあわせですよ!」と答えたい。
 たとえ「心」が病んではいても、
 「魂」までは病んではいない。

*「わくわく 2018春号」に掲載
 むねしんま。



《今月のイラスト》

…今年も梅酒作りに挑戦!《



編集後記

六月梅雨入りとなりました。
 相模川の鮎釣りも解禁となり、太公望の我々には待ちに待った特別な「一日」なのです。
 私も中学時代から釣りを始め、成人し、結婚し、六〇歳代くらいまで、必ず「一日」の釣りは欠かしていませんでした。今も忘れられない、六月一日です。

今年も例年になく、上の鮎が多そうですね。
 ぼらんていあ通信 楽の詩を贈るたいわく。

(勝)